

調査名		孔番・深度		観察日									
		B14-2 ( 90 ~ 95 )		8/29									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化	変質				
90	90.08				IV								90.08-90.56m: 中角度の割れ目が多し、主に若片状に破砕して採取される。
	90.56				V								
	90.92				IV								
91	91.14				V				11	11			91.08-91.13m: 細かい割れ目が深さ1cm程度に達し、少量も認められ、30分破砕して採取される。 91.13m-91.15m: 40°の割れ目に黄鉄鉱晶出。
	91.48				IV	C					CL		
	91.63				V								91.48-91.63m: 中角度の割れ目が多し、主に若片状に破砕して採取される。
92	92.63		Ap	51R 91 (褐色)	C				0	9			92.13m-92.40°の割れ目一部に黄鉄鉱晶出。  92.63-93.58m: 割れ目間隔が10cm以上と大なり。コアは柱状。
	92.97				III								
93	93.58				B				47	16			93.64m-94.0°の割れ目に黄鉄鉱晶出。
	94.00				V								94.00-94.63m: 低-中角度の割れ目が多し、若片状に破砕して採取される。  94.24m: <45°の割れ目1箇所12mmの反白砂型物存在。 94.34m, 94.37m: <40°の割れ目に黄鉄鉱晶出。
	94.63				IV								
95					IV				0	7			

10  
10  
11  
16

調査名		孔番・深度		観察日										
		B14-2 ( 95 ~ 100 )		8/29										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					R/D
95	95.07				IV									95.07~96.03m: 中角程度の割れ目が多く、岩片状に碎状と採取される。
96	95.63				IV					0	5			95.34~95.43m: 細かい割れ目が発達し、細碎状と採取される。 95.36m: ほぼ全周に割れ目により1mm程度の白帯が存在。
	96.38				V									96.38~96.59m: 中角程度の割れ目が発達し、主に碎状と採取される。
	96.54				V									96.44~96.64m: 変質が認められ、やや軟質である。
	96.54				VI					3	54			96.54~96.64m: 細かい割れ目が茶色し、主に細碎状と採取される。
	96.64				VI									
	96.80				V					2				96.80~96.97m: 変質が認められ、やや軟質である。
97	96.97				V									
	97.06				VI									
	97.50				III	B	β							97.50~98.09m: 中-高角程度の割れ目が多く、主に岩片状に碎状と採取される。
	97.60													97.83~97.86m: 細かい割れ目が発達し、細碎状と採取される。
98	98.09				V	C								
	98.28				IV	B				2				98.28~100.40m: 不規則な割れ目がある。主に岩片状に碎状と採取される。
99					V	C				0	9			99.61~99.66m: 細かい割れ目が多く、変質が認められ、やや軟質である。
100										0	9			

10  
13

調査名		孔番・深度		観察日								
		B14-2 (100 ~ 105)		8/29, 8/30								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
100												
	100.46			2.5YR 7/1 (明褐色)	c	V	C		2			
	100.52				d	VI	D		3	40		100.40-100.52m: 細かい割れ目が見られ、変質を受けたヤマト岩で、碎粒-土砂状に採取される。
	100.75				c	IV	C		2	75		100.75-101.03m: 変質の明瞭なヤマト岩である。
	100.90				c	V	D		3			100.90-101.03m: 細かい割れ目が見られ、土砂に近い状態に採取される。
101	101.07				d	VI		β		0	7	
	101.38				c	V	C		2			101.27 ~ 101.52m 石灰岩帯
	101.47								3	40		101.47-101.50m: 礫石を受け、変質も若く、反白色の石灰岩の塊状。<25 (Hb)
	101.52				d	VI	F		4	52		101.50-101.52m: 粘土層の塊状 (Hj)
					c	V	C		2			
102	102.09									0	8	
	102.55		AY	5YR 6/1 (褐色)	b	IV	B	β	2			102.55-102.94m: 中角度の割れ目が多く、片状~細粒状に採取される。
	102.97				c	V	C					
	102.94									0	8	
103	103.11			5YR 7/2 (明褐色)	d	VI	D		3			102.94-103.11m: 細かい割れ目が見られ、変質も明瞭な石灰岩-土砂状に採取される。一部反白色の石灰岩に混在する。
								β				103.11-103.93m: 中角度の割れ目が多く、低角度の層状割れ目が見られ、全体に弱い変質を受けている。
					c	V	C					≡ 層状割れ目もよく柱状コアを主とする。
104	103.93								2	0	8	
					b	IV						
	104.44			5YR 6/1 (褐色)			B	β				104.44-105.54m: 中角度の割れ目が多く、主に片状に採取される。
					c	V						
105										11	11	



調査名		孔番・深度		観察日								
		B14-2 (110 ~ 115)		8/30								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
110				5YR 7/1 (明褐色)	C	V	C	B	2			110.12~110.78m: 中角度の割れ目が密集し、細砕状で採取される。
111	110.95			5YR 7/1 (明褐色)					0	5		110.95~111.16m: 変質が著しく暗褐色を呈する。やや粗粒で、砕状・細砕状で採取される。白色粘土が割れ目状に充填する。
	110.16					D			4		CL	
	116.55					C			2			
	116.86					D			3			111.78~111.86m: 中角度の割れ目が密集し、細砕状で採取される。一部白色粘土が割れ目に充填する。
112				5YR 6/1 (褐色)					0	3		111.80m: 暗褐色の粘土質。厚さ4~6mm、 $<45^\circ$
	112.28					C			2			
	112.76					D			3			112.28~112.46m: 中角度の割れ目が2~5mm~2cm間隔で密集し、変質が認められる。
	112.90		Ap		C	C			50		50	112.50~113.44m: 新鮮な破砕した柱状・岩片状で採取される。
113					IV	B			2	2.1	1.1	CM
	113.44								2			113.44~113.90m: 中角度の割れ目が多く、岩片状・細砕状で採取される。
	113.52					B			3			113.52~113.82m: 全体が割れ目状で、変質は弱く112.113。
	113.82				V	C			3			113.58m: $<45^\circ$ の割れ目に厚さ1mm程度の鉄鉱石晶出。
	113.90								3			113.64m: $<50^\circ$ の割れ目に厚さ1mm程度の鉄鉱石晶出。
114									23	12		113.90~114.66m: 新鮮・硬質で、割れ目が比較的少ない。柱状・岩片状で採取される。
	114.66				IV	B			2			114.66~116.33m: 割れ目が多く、岩片状・砕状で採取される。
115									11	11		CL

調査名		孔番・深度		観察日								
		B14-2 (115 ~ 120)		8/30								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
115	115.24				B							115.24-115.52m: 割れ目Bの露出、主に碎屑状で採取される。
	115.52				C							
116	116.37				V			0.7		CL		116.04m: <45°の割れ目に長さ2mの淡灰色片岩存在。
	116.37				C							116.37~119.37m: 新鮮な破砕した小片は比較的少ない。柱状岩片状で採取される。
117	117.22				b	IV				CM		
	117.37		Ap	STR 6/1 (粉状)	B			10	A			117.37-120.00m: 割れ目多し。岩片状に碎屑状で採取される。
	117.58				V							117.58m: <45°の割れ目に長さ2-4mmの黄鉄鉱結晶が散見。解理(100, 010)あり。 117.42m (土盤酸で浸し済み) (100)
	117.95				IV							117.95-(120.00)m: 割れ目多し。岩片状に碎屑状で採取される。
118	118.42				C				10	10	15	
	118.42				C							118.83-118.92m: 主に粉屑状で採取される。
119					V			0.7		CL		119.32m: <20°の割れ目に長さ1mmの灰白色片岩存在。
120								0.7				

調査名		孔番・深度		観察日									
		B14-2 (120 ~ 125)		9/8									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
120	5												<p>120m以深に於て粘板岩コア形状 1~3cmの割れ目コアの主体。5~10cm以上は見掛け上連続的コアの1~3cmの間隔に低密着割れ目が分布し、1.72-0.82Tの低密着割れ目に於て岩片化が、各割れ目の面は変質の暗緑色化が認められる。</p> <p>長石は粘板岩白濁化(20%)</p> <p>120.50m 72°割れ目に淡灰緑色の粘土(厚2.05mm)が付着する。</p> <p>120.30~122.0m 10~40°と60~80°割れ目が交差し、1~3cm細く割れ目(20%)</p> <p>121.15m 75°割れ目に淡灰緑色の粘土(厚2.05mm)が付着する。</p> <p>121.50m 90°割れ目に淡灰緑色の粘土(厚2.05mm)が付着する。</p>
122	5		Ap	5YR 6/1 褐灰	c	v	c	β	2	0.5		CL	<p>122.18~122.40m 55~60°割れ目(20%)一部非粘着性(硬2D)。変質粘土は粘板岩の。</p> <p>122.80m 55°割れ目に淡灰緑色粘土(厚2.05mm)が付着し、割れ目下方側約2cmを非粘着(硬2D)。</p> <p>122.99m 60°割れ目に淡灰緑色粘土(厚2.05mm)が付着。</p> <p>123.10~123.41m は見掛け上、5~10cmの短〜棒状コアの50%は1~3cmの低密着割れ目が発達し、20%岩片化(棒状コア形状「D」)</p> <p>123.39m 30°英幅0.6~1cmの粘土混じり、石炭状を呈する。下盤側の70°割れ目の面には暗緑色粘土(厚2.05mm以下)と黄鉄鉱の晶を認め、123.39mには上記の70°破砕脈とほぼ垂直な長さ2cmの破砕脈が分布。下盤側の割れ目の一部に暗緑色粘土(厚2.05mm以下)が付着し、20%全量肌を呈し、粘板岩の黄鉄鉱晶を認められる。</p>
123	5												<p>124.59~124.89m 互いに直交する約45°割れ目等に割れ目1~3cmの層を呈す。脱色は白色化(低密着割れ目)が顕著・岩片化(20%)程度あり。</p>
124	5												<p>124.59~124.89m 互いに直交する約45°割れ目等に割れ目1~3cmの層を呈す。脱色は白色化(低密着割れ目)が顕著・岩片化(20%)程度あり。</p>
125										0.5			

調査名		孔番・深度		観察日								
		B14-2 (125 ~ 130)		9/8, 9/12, 9/13								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
125				5YR 5/1 褐灰								<p>124.09 ~ 129.41 m 17 見掛け上は 5 ~ 10 cm の 全粒状コア全体であるが、コア中には 1 ~ 3 cm の 膜色を有し白色化した 低密着剥離層を含む。低密着剥離 層には 0.1 ~ 0.2 mm の細片化砂 (コア形状「V」)。</p> <p>125.10 m 35° 125.65 m 30° の割れ目面と 剥離層は 2 ~ 3 cm の変質による暗緑色化。 後者の剥離層面には 暗緑色粘土 (厚さ 0.5 ~ 1.2 F) が 付着する。根状の黄鉄鉱が晶出している。</p>
126	126.00		Ap	2.5YR 6/2 灰赤	C	V	C	B	2	0	9	<p>126 ~ 126.65 m 色調は 赤味あり、特に 126.00 ~ 126.63 m 間は 赤味が強い。</p> <p>126.25 ~ 126.67 m 45° 前後の割れ目には 低密着剥離 層の存在による暗緑色化と赤褐色化部が互 層状に分布する。粘土付着や粘土脈は分布しない。</p> <p>126.62 m 35° 剥離層に 緑色粘土付着し、微細な黄鉄鉱が晶出。 126.72 m 付近の割れ目には 未風化の粘土、粘土の白濁 化も認められる。</p>
127	126.63 126.72			5YR 6/2 灰褐						0	5	<p>126.80 ~ 127.04 m 35° と 60 ~ 90° 剥離層の 約 1 cm 間隔に分布し、変質層の約 1 cm 前後 の厚さに付着する。剥離層の面には 未風化の 粘土の付着もある。</p> <p>127.73 ~ 127.90 m 石英が濃集し、全体に 1.5 程度と なる。</p> <p>127.63 m 45° 剥離層に 真幅 0.5 mm の暗緑色粘土 が付着し、0.1 ~ 0.2 mm の微細な黄鉄鉱が晶出</p> <p>127.80 ~ 128.50 m 30 ~ 40° と 60 ~ 80° 剥離層の 変質層中に 3 cm の厚さの剥離層が分布する。粘土付着は 岩化は認められない。</p>
128	128.65			5YR 5/1 褐灰	C	V	C	B	2	0	9	<p>128.50 m 40° 剥離層に 真幅 1 mm の暗緑色粘土 が付着。真幅 0.5 mm の白色の方解石脈付着</p> <p>128.60 ~ 128.90 m 根状 1 ~ 3 cm 間隔に、低密 着剥離層が多量に分布。剥離層の間に 細片化砂 が分布する。</p>
129										0	7	<p>129.00 ~ 129.08 m 60 ~ 80° と 20 ~ 30° 剥離層が変質し、 1 cm 程度に細片化する。剥離層は 1.5 ~ 2 cm (C)</p> <p>129.08 ~ 129.40 m の長さ 3 ~ 6 cm の 欠片状 コア中には 低密着剥離層が 1 ~ 2 cm 間隔に 糸状に分布し、1.5 ~ 2 cm の剥離層中に 2 cm 程度の細片化砂</p> <p>129.60 m 70° と 80° 剥離層が近接し、両剥離層の間に 1.5 ~ 2 cm 程度の剥離層が分布する。粘土 の付着、粘土脈は分布しない。</p>
130										0	6	

調査名		孔番・深度		観察日										
		B14-2 (130 ~ 135)		9/3										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				変質	ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化						
130	130.16 130.30		Ap	5YR 6/1 褐灰 130.30 5YR 6/2 灰褐	c	V	C	B	2			C <sub>2</sub>		<ul style="list-style-type: none"> <li>130.16 35° 割れ目。の一部は褐色風化部。腐化は様々である。</li> <li>130.16 m 以下は、長さ(約2~3mm)の部分が白濁化部</li> <li>129.79 ~ 131.00 m 35~45° とこれと垂直な(斜交)部。10~40° 割れ目が長さ約1~3cmの薄片に呈する。割れ目には粘土付着が粗粒部には分布する。</li> <li>130.50 ~ 130.54 m 45° 割れ目より暗緑色化部。粘土付着が、長さ1~3mm 石英脈に付着。</li> <li>131.00 ~ 132.00 m /&gt;コア (コア採取不可)</li> </ul>
131	5									0	5			
132	5													<ul style="list-style-type: none"> <li>132.00 ~ 133.00 m 上記と同様、割れ目と低密度割れ目から1~3cm程度の間隔で分布し、1~3cm程度の薄片化の部分が多い(含む)。</li> <li>変質と同化部は岩化部から、133.46 m の10° 割れ目付近暗緑色粘土の厚さ1cm程度の付着(含む)。</li> <li>132.00 ~ 132.15 m と 133.10 ~ 133.30 m は1~2cmの薄片に付着採取し、薄片は硬質(硬土C<sub>1</sub>)</li> <li>133.57 ~ 134.00 m、割れ目等に長さ5mm程度の薄片が粗粒部に付着している。薄片は硬質で変質の岩化部。粗粒部には粘土は付着(含む)。</li> <li>134.00 ~ 135.00 m /&gt;コア (コア採取不可)</li> </ul>
133	5		Ap	5YR 6/2 灰褐	c	V	C	B	2			C <sub>2</sub>		
134	5									0	5			
135	5													

調査名		孔番・深度		観察日																
		B/4-2 (135 ~ 140)		9/14, 9/17																
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等								
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	RQD						
(m)	(m)																			
135			Ap	5YR 1/2 灰褐	c	v	o	B	2		C <sub>L</sub>	135.00 ~ 135.50 m ・表片は 10~30° 主軸 1~2cm 間隔に細かく表片が分布 ・表片自身は硬質 ・割れ目に粘土付着や粘土脈の検出はない ・石英の結晶は肉眼では確認できない								
	135.50																			135.50 ~ 136.00 m ノンコア (採取できず)
136			Ap	5YR 1/2 灰褐	c	v	c	B	2		D	136.00 ~ 136.20 m ・136.00 ~ 136.20 m 中 1~2cm 程度に若干の表片は認められるが不明である。表片は粘土付着がある。割れ目間隔 1~2cm ・2347-多量に詳細に詳細に詳細に「cvc」と詳細に本区間 C <sub>L</sub> と判定した ・136.20 ~ 136.27 m cvc 組織の C <sub>L</sub> ・136.27 ~ 136.50 m 石灰質を含む dVI D <sub>3</sub> と C <sub>L</sub> と判定した ・136.50 ~ 136.75 m ノンコア (採取できず) 部分的に粘土付着の検出あり								
	136.30																			
	136.50																			
	136.75																			
137			Ap	5YR 1/2 灰褐	c	v	c	B	2		C <sub>L</sub>	136.75 ~ 137.08 m ・1~2cm の表片は若干の表片は認められるが不明である。136.00 ~ 136.20 m と同じ理由。 137) C <sub>L</sub> と判定した ・137.08 ~ 138.42 m ・全体的に緑色をおびている (緑泥化の変質作用?) 割れ目間隔が概ね 1~3cm の 10~30° 割れ目と、これと斜交する 40~50° 割れ目があり、微小の石英結晶の検出あり ・上記の両割れ目系変質部の一部中、137.67 ~ 137.73 m (45~50° 割れ目系) の割れ目前後の破砕帯に暗緑色粘土が付着している ・石英の結晶は肉眼では確認できない								
138												138.21 ~ 138.42 m ・変質作用による表片部。割れ目には暗緑色粘土が付着し、全体に緑色を帯びる ・138.06 ~ 138.42 m 上下に比べ、岩盤が劣化 (変質作用) により粗粒化あり。若くは劣化により (破砕) あり ・138.03 ~ 138.66 m 上下に比べ、岩盤が劣化 (変質作用) により粗粒化あり。全体に緑色を帯びる ① 138.42 ~ 140.04 m 若くは劣化 (破砕) により、傾斜 10~60° の割れ目も発達し、それら 30° 程度を帯びる傾斜発達する ・137.27 ~ 139.50 m 粗粒化変質 (変質) 割れ目には暗緑色粘土が若くは劣化 (破砕) あり								
	138.21																			
	138.42																			
139				5YR 1/2 灰褐																
140					c	v	c	B	2	0	4	C <sub>L</sub>								

調査名		孔番・深度		観察日								
		B14-2 (140.00 ~ 145.00)		9/17, 9/18								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	140.04											140.04 ~ 140.33 m
	140.33		5YR5/2 灰岩									割れ目発達部。一部破砕部(硬2C)の破砕 T1, T2。上下位に比べ硬質である。
	140.89		5YR4/1 灰岩									140.33 ~ 141.71 m 上位に比べ 割れ目頻度 1:1 ~ 1:2 割れ目沿いの細片化がみられる。割れ目は 30 ~ 50° に開く。
141	141.31		5YR4/1 灰岩									
	141.71											141.71 ~ 142.00 m 傾角 (10° ~ 20°) の割れ目が発達し、T1 割れ目沿いの細片化、細粒化に特徴となる。 岩石の一部は硬質(硬2C)である。
142	142.00											142.00 ~ 142.30 m 上位に比べ、割れ目沿いの岩盤の劣化に 特徴がある。割れ目沿いの細片化も。
	142.30		Ap									142.30 ~ 142.48 m 上位に比べ 岩盤の劣化に特徴となる。 割れ目沿いの細片化も。
	142.48											142.48 ~ 143.53 m 岩盤劣化に、割れ目沿いの細片化、細粒化 がみられる。
	142.53											特に 142.85 ~ 143.02 m, 143.32 ~ 143.53 m は、割れ目が発達し、硬 2C の割れ目が細片化、細粒化する。 粘土状部は含まれない。
143	143.53											143.53 ~ 144.46 m 上位に比べ、岩盤劣化に特徴があり 割れ目頻度は小となる。割れ目沿いの細片化、細粒化に 特徴となる。 割れ目は傾斜 20° ~ 30° の方が優勢である。
144	144.46		144.46									
145	145.00		N5/4 灰									

調査名		孔番・深度		観察日								
		B14-2 (145.00 ~ 150.00)		9/18								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
146	145.56		N5/4 灰		14	C			10	10	C2	145.46 ~ 146.17 m. 上位に比べ、割れ目粗度が大となり、割れ目沿いの細片化がみられる。微細に割れ目もみられる。連続的に延びる。
	146.17				17							146.17 ~ 146.71 m. 上位に比べ、割れ目沿いの岩壁の節理は粗く、一部の割れ目沿いに細片化がみられる。割れ目粗度は小である。
	146.29				14							146.71 ~ 147.13 m. 上位に比べ、割れ目粗度が大となり、微細に割れ目もみられる。連続的に延びる。146.9 m 付近、割れ目沿いに変質と色付、割れ目周縁が約 2 cm の厚さ、暗緑色を呈する。
147	146.71		S5/R4/1 赤灰		7/1							147.13 m. 割れ目に暗緑色の熱水変質帯が伴い、割れ目周縁は暗緑色を帯びる。下盤側(147.20 m 付近部)は脱色し、軟質(硬さD)となる。
	147.13											147.13 ~ 147.30 m. 赤色を帯びる。傾斜 50°-70°の割れ目が優勢であり、微細に割れ目が発達し、連続的に延びる。割れ目沿いの細片化、細粒化がみられる。
148	147.30		S5/R5/1 赤灰									
	148.70											
149	148.70		S5/R5/2 赤灰									
	149.30											
	149.62											
	149.63											
150	149.63		S5/R4 赤灰									149.63 ~ 149.69 m. 割れ目沿いの細片化、細粒化がみられる。一部硬質部(硬さC)が残存するが、上下に比べ、軟質(硬さD)となる。149.62 ~ 150.00 m. 軽微な変質作用と色付、緑色を帯びる。上位に比べ、岩質が硬質となる。微細に割れ目がみられる。149.80 ~ 149.85 m. 変質作用による岩壁化部、幅 20 mm、上下盤との傾斜 40°を呈し、上下盤の岩部と明瞭に区別される。暗緑色の熱水変質帯が不規則に伴い、暗緑色を帯びる。上下に比べ、硬質(硬さD)となる。

余白

H24-D1-3

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		D/3		5/15			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				火山灰物 炭質土 貝化石 木片 ○ r ▨ m ○ θ □			
0	0.18				礫 (埋込土)	25YR 3/1 黒褐	・0~3.57m: 埋込土 ・0.0~0.18: 礫 1.5~2.0m: 黒色珪石の砂 ・0.18~3.57m: 礫混り粗砂 Gr, Ap 角礫を含む粗砂でルーズである 礫はほとんど埋込土である。 1.3~1.0mmの珪石片も多量を含む。
1	0.5				礫混り粗砂 (埋込土)	25YR 5/3 黒褐	
2	0.5						
3	0.5						
4	0.5				中砂 (改良土)	25YR 5/2 灰褐	・3.57~4.00m 中砂 13~14% 角礫, ルーズである。 最下部 3.96m 以下は珪石片が混入する。
	3.57						埋込土
	4.00						改良土

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等  
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		D/3		5/16、5/17			
標尺	深度	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
(m)	(m)			火山灰物 炭質土壌 貝化石 片			
4	4.00						
0.5	4.49				礫混れ り中砂 (改良土)	7.5YR 4/2 灰褐色	4.00~4.49m: 礫混れ中砂 φ2~5mm 砂, 長石粒, φ5~20mm Gp, Ap, 珪石片を含む 若干の赤褐色混入 16-2' まで。
5	4.97				礫混れ 粗砂 (改良土)	10YR 6/3 15% 黄褐色	4.49~6.00m: 礫混れ粗砂 φ2~5mm 石英, 長石粒, φ5~10mm Gp, Gr, Ap 互解集を含む 16-2' 粗砂, 礫混れ粗砂 4.36~4.50m 16' 10" φ5~10mm 互解集を多量含む粗砂状。 5.00~5.10m の礫石孔壁の落下 5.12' に不詳, 5.30' 付近に是色の珪石片を含む。
0.5	4						5.70' φ3~4mm 是色珪石片散在が点在。
6	6.39				中砂 (改良土)	10YR 5/3 15% 黄褐色	6.00~6.39m: 中砂 24-2' に粗砂の混入(不均質) 6.25~6.27m φ2~3mm の是色珪石片を含む 16-2'
0.5	6.89				砂礫 (改良土)	10YR 4/4 15% 黄褐色	6.39~7.40: 砂礫 φ2~5mm 石英粒, φ5~120mm の珪石片 Gp 互解集へ珪石片 粗砂の基底の珪石片、礫を含む。 礫含有率は30~40% 7.00' に φ30mm (20' 長) の Gr 半径の礫を含む。 7.20~7.25' の礫石孔壁の落下は可成り。
7	7.40						7.40~7.80m: 中砂 24-2' に粗砂と硬質礫を含む不均質 全体が16-2' まで。
0.5	7.85						
8							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		D/3		5/17 5/10		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			マーカー 火山灰物 炭質土 貝化石 木片 ○ r m □			
8 0.5 9 0.5 10 0.5 11 0.5 12	0.30	0.30	Gr	中砂 (改土)	10YR 7/3 灰黄緑	改土 ↓ 9.38~9.60m: 礫 9.10~3.00m: Gr 礫を基質とする、一部に水鏡の落下礫を含む 0.5~1.20m: 黒色珪石を含む 2.60~ (9.00m): 中砂 不均質な砂。上位側の 0.60~0.73m に 23% の 混入砂。0.60m 以下は各層の砂と小礫の混入砂。 0.6~2.2m あり。 9.00~9.66m: 中砂 (多量の 0.05mm 以下礫, 23% 混入) 多量の 23% の水鏡から落した Gr 礫を多く含む 9.35~9.66m に 0.5~1.0mm の 23% 片を含む 9.66~9.84m: 中砂 珪石と 23% の礫を 23% 混入。基盤と 5% 接触あり。 9.84m 以下 ↓ 基盤部観察時に参照
	0.60	0.60	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	0.90	0.90	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	0.920	0.920	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	0.930	0.930	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	0.940	0.940	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	0.966	0.966	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	0.984	0.984	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	1.000	1.000	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	
	1.050	1.050	Gr	中砂 (改土)	10YR 6/4 灰黄緑	

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日										
		01-3 (9.54 ~ 10.00)		4/20										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 RQD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					
6														
7														
8														
9														
05														
9.54														
10			GP	7.5YR 7/2 明褐色	4	VI	E	5	2	0	1	0		コア観察カード参照 9.54 ↑ 9.54 ~ 10.00 基岩、中1 ~ 7mm 角の結晶質の石英花崗岩

調査名		孔番・深度		D1-3 (10.00 ~ 15.00)		観察日		5/20, 5/22				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5	10.53		Gp	2.5YR 3/2 明物灰	d	VI	E			D		9.84 ~ 10.77 m 著しく軟化し、割れ目はほぼ消滅。高組織は珪質(2mm)のφ10mm前後の欠片と長石結晶の多量を含む。 粘土化部も粘土化は若干ある。 消滅の部位は40~60°割れ目が残存する。200μm。 10.67 ~ 10.50 23Ym
	10.77											
1.1	11.53		Gp	c	V	E	δ	2	D	1		10.77 ~ 12.00 m 著しく軟化し、硬さの主体であるが、割れ目は若干の珪質(2mm)と高組織と明瞭である。 割れ目は40~60°とこれに斜交~垂直の60~90°の2本の割れ目があり、割れ目とこの間に硬化した粘土化部を含む。割れ目一部に珪質の結晶が豊富である。 粘土化は強んじている。
	12.00											
1.2	12.13		23Ym	c	V				D	1		11.90 m, 45°の消滅の部位に割れ目と断片の粘土化部(緑泥石と粘土)。
	12.27											
1.1	12.39		Gp	6.0YR 3/3 R2.5 黄緑	d	VI	E	δ	3	D		12.00 ~ 12.13 m 23Ym 12.13 ~ 13.03 m 高組織と割れ目の主体は珪質(200μm)コア主体が著しく軟化部。30~40°の割れ目と低組織割れ目主体で、一部は60~70°割れ目と斜交する。各割れ目には砂化部。一部は200μmの珪質結晶が豊富である。粘土化部は若干ある。12.13 ~ 12.17 mは10~30°の石線と粘土の範囲に分布し、12.17 m以下は割れ目の一部に厚さ1mm前後の粘土化部。上部は軟弱な粘土化部。 12.57 ~ 12.61 mは上部45°、下部30°の硬緑色(緑泥石)部。大部分は10~20°の斜交部は粘土化部と珪質部。
	12.58											
1.3	13.03		Gp	c	V	G			D	2	CL	12.62 13.03 ~ 13.32 m 硬くcと硬化で割れ目はほとんど消滅する。
	13.22											
0.5	13.47		Gp	5.0YR 7/4 R2.5 橙	d	VI	E		D	3		13.32 ~ 13.47 m 同様に砂化(2mm)。 13.47 ~ 13.94 m 50°割れ目が平行に斜交分布する。 岩片は珪質Dと中硬粘土部。砂化部粘土化部と珪質部との一部は200μmの珪質結晶が豊富である。
	13.62											
1.4	14.06		Gp	c	VI	E			D	0	b	13.94 ~ 14.06 m: 珪質帯 (H-3d 破砕帯) 13.94 ~ 13.98 m: Hj 上部60°、下部30°、両者が斜交的に20~70°に連続。φ5~10mmの粘土化部岩片主体で、岩片間の基質(砂主体)は200μmの珪質結晶が豊富である。粘土化部岩片は、浅変色(2.5Y 7/3)である。厚さ20~30mm。 13.98 ~ 14.00 m: Hc-1 上部35°、下部60°、両者が斜交的に20~70°に連続。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。
	14.17											
1.4	14.41		Gp	c	IV	D			D	3		14.06 ~ 14.17 m: Hc-2 14.17 ~ 14.22 m: Hj 上部35°、下部60°、両者が斜交的に20~70°に連続。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。
	14.52											
1.5	14.72		Gp	2.5YR 3/3 R2.5 黄緑	c	IV	D		D	2	CL	14.00 ~ 14.06 m: Hb (主断面: 14.06 m) 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.22 ~ 14.27 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.27 ~ 14.32 m: Hc-2 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.32 ~ 14.37 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.37 ~ 14.41 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.41 ~ 14.46 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.46 ~ 14.51 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.51 ~ 14.56 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.56 ~ 14.61 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.61 ~ 14.66 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.66 ~ 14.71 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.71 ~ 14.76 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.76 ~ 14.81 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.81 ~ 14.86 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.86 ~ 14.91 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.91 ~ 14.96 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。 14.96 ~ 15.01 m: Hc-1 上部60°、下部60°、上部は斜交的に20~70°、下部は粘土化部と珪質部。φ1mm前後の石英と含有量の浅変色粘土で厚さ10mm。
	14.88											

調査名		孔番・深度		観察日									
		D/3 (15.00 ~ 20.00)		8/2									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
0.5			Gp	2.5YR 7/3 明褐色	C	IV	D	8	2	10	10	CL	14.06 ~ 14.41 m 上部は残存の粘り土、割れ目は大半が充填してあり。 残存の14.30 ~ 14.60割れ目には(10)粘り土の粘り土に、幅 1~2mmの軟弱な白色~明褐色(10YR 7/6)の粘土が分布する。
1.6		14.41 ~ 14.52 m: 破砕帯 (H-4 石灰質帯) 14.41 ~ 14.47 m: HJ 上部40°、下部60°で、両端は連続的にC-2に連続。 大半が粘土化(10YR 7/6)粘り土片状に呈出。上部は(2.5YR 7/3) ~ 12mm径(2.5YR 7/4)の厚さ20~30mm											
0.5	16.40		Gp	2.5YR 5/2 灰褐色	C	IV	D	8	2	15	15	CL	14.47 ~ 14.48 m: Hc-2 (主断面・14.47 m) 上部60°、下部60°で、上部は部分的にC-2に、下部は粘り土 連続。φ1~2mmの石英粒、φ2~3mm径長さ5~10mm幅2~3mmの扁平 片状の粘土(5YR 7/2)の軟弱な粘土。厚さ1.5~1.8mm
0.5	16.61												14.48 ~ 14.52 m: HJ 上部60°、下部60°で、両端は連続的にC-2に連続。 55°の割れ目は幅1~2mmの軟弱な圧縮(5YR 7/2)粘土片に 12mm径粘土片で、粘土片長10mm程度に呈出。全体の色調は明褐色 (10YR 7/6)で、厚さは20mm
1.7	17.00		Gp	2.5YR 5/2 明褐色	C	IV	C	Y	2	34	13	CL	14.52 ~ 22.47 m 比較的割れ目が少なく、形状IVからV。 上部中央部は16.40 ~ 20.00 mと最下部の21.75 ~ 22.47 m 一部硬くB区に硬く硬くCで、厚さは約1.5cm。この層は14.52 ~ 16.40 mと20.00 ~ 22.47 mは中同化の「硬く硬く」軟化層。 全体的に粘土化粘土片の分布は少なく、強度は約10。
0.5	17.40												割れ目は10~40°と緩急材料の約10°で、部分的に15~20° 緩急材料割れ目は60~80°割れ目~低強度粘土片に呈出(20mm)。
1.8	17.90		Gp	2.5YR 5/2 明褐色	C	IV	C	Y	2	21	11	CL	16.17 ~ 16.20 m 割れ目は10~15°の粘土化(10YR 7/6)φ10~30 mmの石英粒に分布する。
0.5	18.00												16.48 m: 58°割れ目長さ2~4mmの軟弱な白色粘土片に 呈出。 16.48 ~ 17.60 m 10~15°硬く硬く「硬く硬く」の硬く硬く粘土片も多量に 呈出。割れ目は連続的に「硬く硬く」の粘土片に呈出。粘土片は 塊状物も分布する。 18.05 ~ 18.08 m 割れ目は10~15°の粘土化(10YR 7/6)の 軟弱な粘土片に呈出。粘土片は10~15°の粘土片に呈出。
1.9	18.00		Gp	2.5YR 5/2 明褐色	C	IV	C	Y	2	20	10	CL	19.10 ~ 19.22 m 割れ目は10~15°の粘土化(10YR 7/6)の 軟弱な粘土片に呈出。粘土片は10~15°の粘土片に呈出。
0.5	18.50												20.77 ~ 20.80 m 割れ目は10~15°の粘土化(10YR 7/6)の 軟弱な粘土片に呈出。粘土片は10~15°の粘土片に呈出。
2.0													





調査名		孔番・深度		観察日		観測者						
		B/- 3 (30.00 ~ 35.00)				S/S						
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 RAD	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
30	30.30		Gp	104R 3/2 15%の 黄橙	<	v	D	δ	2			<p>29.95 ~ 33.30m</p> <p>上位側 32.63m 以下の砂岩と、下位側 32.68m 以下の泥岩からなり、両者とも年代は同様に軟化～着色軟化(2nd)。</p> <p>割れ目は 32.63m 以下の砂岩(2nd)と、32.63m 以下の泥岩の一部(着色軟化、一部着色軟化)。</p> <p>割れ目は 20~40° とこれに斜交～垂直に 50~70° 割れ目と同程度の低角度割れ目も存在する。32.63m 以下の砂岩の一部の割れ目は、着色軟化に伴って変質し、32.63m 以下の泥岩の割れ目も同様に砂岩化の傾向が認められる。</p> <p>粘化帯や粘化帯の分布は不明である。</p> <p>砂岩部の割れ目には 2mm 程度の隙間、是れは粘化帯。</p> <p>30.24m、60° 割れ目に沿っての割れ目、幅 2mm 程度の 10~12mm、</p> <p>30.74m、40~50° 湾曲した割れ目と 30.85m、55° 割れ目との間には 10mm 程度の隙間があり、粘化帯が分布している。</p> <p>30.85m、55° 割れ目は年代は 10% の黄橙色の幅 1~2mm の粘化帯を伴っている。</p>
31				254R 7/2 明褐灰	<	v	D	δ	2	0	5	<p>30.24m、60° 割れ目に沿っての割れ目、幅 2mm 程度の 10~12mm、</p> <p>30.74m、40~50° 湾曲した割れ目と 30.85m、55° 割れ目との間には 10mm 程度の隙間があり、粘化帯が分布している。</p> <p>30.85m、55° 割れ目は年代は 10% の黄橙色の幅 1~2mm の粘化帯を伴っている。</p>
32										0	5	<p>32.20m、60° 割れ目に沿っての割れ目、幅 2mm 程度の 10~12mm、</p> <p>32.63m、55° 割れ目に沿っての割れ目、幅 2mm 程度の 10~12mm、</p> <p>32.63m 以下の泥岩は 33.30m まで割れ目が連続する。以下は 17% の粘化帯が、割れ目の一部に連続する傾向がある。</p> <p>33.00 ~ 33.30m 割れ目、低角度割れ目と 40° 程度の粘化帯を伴っている。</p> <p>33.40 ~ 33.25m、40~50° の割れ目の一部、低角度割れ目の一部は粘化帯(粘化帯の幅 1~2mm の粘化帯)の粘化帯を伴っている。</p>
33					<	v	E	δ	2	0	7	<p>33.30 ~ 34.23m</p> <p>粘化帯と割れ目は連続している。</p> <p>全体に 40~50° の幅 1~2mm の粘化帯(104R 7/4)の粘化帯が分布する。</p> <p>33.91m、50° 幅 2~3mm の粘化帯と 4mm の粘化帯の粘化帯を伴った粘化帯(粘化帯の幅 1~2mm の粘化帯)が分布する。</p> <p>粘化帯は 34.23m までの粘化帯を伴っている。</p> <p>34.23 ~ 34.52m : 粘化帯 (D-1 破砕帯)</p> <p>34.23 ~ 34.37m : HJ</p>
34	34.52			104R 7/4 10%の 黄橙	d	v	E	δ	3	0	2	<p>34.23 ~ 34.52m : 粘化帯 (D-1 破砕帯)</p> <p>34.23 ~ 34.37m : HJ</p> <p>上部 50°、下部 55° と両者とも斜交的に 40° の粘化帯、</p> <p>45~10mm の粘化帯と 20mm の粘化帯と粘化帯の幅 1~2mm の粘化帯の粘化帯が同様に分布し、粘化帯の粘化帯を伴っている。粘化帯は 34.30m 以下の 30° 幅 1~2mm の粘化帯と粘化帯の粘化帯を伴っている。</p> <p>粘化帯は 20mm 程度の粘化帯を伴っている。粘化帯の色調は灰黄(254R 7/2)～灰黄(104R 7/2)で、厚さは 160mm (可成り) である。</p>
35				254R 7/2 明褐灰	<	v	D	δ	3	0	1	<p>粘化帯は 20mm 程度の粘化帯を伴っている。粘化帯の色調は灰黄(254R 7/2)～灰黄(104R 7/2)で、厚さは 160mm (可成り) である。</p>

調査名		孔番・深度		D/3 (35.00 ~ 40.00)		観察日		4/5				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
35	35.00											34.37 ~ 34.40m: Hc-1 (主断面: 34.37m) 55°で連続的で2p-2に連続的軟弱の白色~灰黄色粘土 状で1mmの石英粒を含む。 厚さは5~7mmである。
36	35.71 35.81		Gp	25YR 7/2 明褐色	IV	C	Y	3	0	6		34.40 ~ 34.52m: HJ 上端55°, 下端55°で両者とも連続的で2p-2に連続 的5~10mmの塊状の軟弱な粘土片が主体で粘土は 粘粒が揃って居る。粘土片の一部に幅0.5~1mmの 軟弱な粘土が分布、粘土液状の塊状を呈す。断面は20° 傾斜に傾斜している。全体の色調は灰黄色(10YR 4L)で、厚さ130mm(27層)。
37	36.53 36.82								0	6		34.52 ~ 35.01m 30~60°割れ目、粘着層割れ目が多い。この区、約17~35.27m では40°前後の割れ目が10~20mmの間隔で平行に分布、20° 程度傾斜した粘着層(2m)。 上流割れ目は幅1~3mmの軟弱の白色~灰黄色粘土状の塊状を 呈す。
38	36.82 ~ 44.01m								13	13		35.01 ~ 36.53m 一部破砕も含まれ全体が硬質である。 40~60°割れ目が主体で、一部で傾斜した粘着層、粘着層は 1~2層ある。
39	38.34 38.41 38.74								9	9		36.53 ~ 36.82m 60~70°割れ目、粘着層割れ目が1~3cmの間隔で分布して居る。 36.67m、50°割れ目上遊側5~10mmは逆圧緑色化(緑泥面 化)粘土は粘着層の。40.5mm以下で微小な雲母の面状 全面鉱物の晶出(2m)。 36.82 ~ 44.01m 40~60°割れ目主体で居る。一部で20°傾斜した粘着層 連続的60~80°割れ目が分布する。 38.34 ~ 38.74mは割れ目(傾斜)に代り粘着層の塊状の 粘土は粘着層の一部で破砕Bを呈す。 粘着層粘着層は幅1~2mmの軟弱な塊状の 白色~黄褐色(10YR 6/1)を呈す。分布は少ない。 37.69m、80°は粘着層割れ目で、37.77m付近で幅1mm 45°の石英脈E切、2m(変位量3mmを呈す)。 割れ目は幅1mm以下の固結、同化した粘着層粘土は2層 38.34 ~ 38.41m 45°割れ目が5~30mmの間隔で平行に 入り交錯し、下部付近の38.38~下部付近の38.41mでは 40°割れ目(傾斜)に幅1~2mmの軟弱な粘着層粘土は粘着層 粘着層間数mmは逆圧緑色化の。 38.41 ~ 38.72m 40°割れ目固結が同化-粘着層の。 39.02m 45°割れ目10~15mmの軟弱な白色(27層)粘 着層は2層。 39.53m 40°幅1~2mm石英脈が母岩に密着して連続
40									5	5		

調査名		孔番・深度		D/-3 (40.00 ~ 45.00)		観察日		7/5				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<h3>基盤岩コア観察カード</h3> <p>記事・破碎性状・詳細スケッチ等</p>
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
40			Gp	2.5YR 7/2 明褐色	c	IV	c	Y	Z			<p>40.87 ~ 44.0 / m 40 ~ 50 割れ目の厚さ平均に 3 ~ 10 cm 間隔で規則的に分布する。 割れ目の面は等しく褐色化しており、軟化は伴わない。 また、一部で幅 1 mm 以下の軟弱粘土帯は認められる。</p> <p>40.61 m, 45.0 割れ目、下盤化の一部は幅 5 mm で淡緑灰色化(緑泥石化)し、幅 2 mm の石英脈を伴う。</p> <p>40.92 ~ 55.0 ~ 40.95 m, 60.0 は一部軟化し、幅 4.5 mm の軟弱粘土帯は認められる。</p> <p>41.40 ~ 45.0, 41.57 ~ 60.0 は割れ目の厚さ平均に 5.5 割れ目と認められ、変色は不明。</p> <p>41.50 ~ 44.30 m 一部の割れ目厚さ 割れ目の厚さ平均に 2.0 ~ 2.5 mm 程度、均一な褐化が認められ、軟化は伴わない。</p> <p>42.04 m, 50.0 幅 2 mm 石英脈の存在に注意して連続。</p> <p>42.08 m, 60.0, 42.12 m, 40.0 割れ目に均一に、幅 2 mm 程度の固結粘土帯、幅 2 mm 以下の黄褐色の軟弱粘土帯と認められる。</p> <p>42.19 m, 20.0 幅 1 ~ 2 mm 石英脈の存在に注意して分布が、30.0 割れ目と認められ、下盤化と認められる(変色は不明)。</p> <p>43.08 m, 45.0 幅 8 ~ 10 mm の淡緑灰色化(緑泥石化)粘土帯の存在は認められる。</p> <p>43.14 m, 50.0 割れ目に幅 1 ~ 2 mm の軟弱粘土帯は認められる。</p> <p>43.60 m, 60.0 と 43.61 m, 60.0 の割れ目に固結径 2 ~ 5 mm に軟化 ~ 粘化が認められる。43.60 m, 60.0 割れ目の一部に、石英脈の幅 1 mm の固結粘土帯は認められる。</p> <p>44.01 ~ 44.29 m 硬さDに準じて、割れ目の一部は均一に軟化が認められる。 44.12 m, 50.0 割れ目に幅 2 mm の均一な黄褐色粘土帯は認められる。</p> <p>44.29 ~ 47.37 m 40 ~ 60 割れ目の存在に平均的に分布する。 一部はこれらに斜交する 60 ~ 40 割れ目の存在が認められる。 上記割れ目と同様の程度で、他は粘土帯の厚さ平均に分布する。 割れ目の一部はごく薄く粘化しており、粘土帯は認められるが分布は少ない。特に 46.53 ~ 46.60 m は粘土帯化部に軟弱粘土帯は認められる。</p>
05												
41										b	7	
05												
42										b	13	
05												
43										0	8	
05												
44	44.01										12	12
05	44.29				c	V	b	δ	Z			CL
45						IV	c	Y				
											11	11

7/25

調査名		孔番・深度		D/3 (45.00 ~ 50.00)		観察日		5/27				
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<h3>基盤岩コア観察カード</h3> <p>記事・破砕性状・詳細スケッチ等</p>
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
46	05		Gp	7.5YR 7/2 明褐灰	c	IV	c	f	2	10	10	<p>44.47m 50割目は一部珪化の流線状結晶(緑泥石化)を伴う。下は微細なφ0.5mm以下の雲母が散在している。</p> <p>44.91m 50割目は幅2~3mmの軟弱な明黄褐色(10YR 8/6)を伴う。</p> <p>45.32m 55割目より幅約5mm前後の流線状結晶(緑泥石化)を伴う。φ0.5mm以下の微細な雲母が散在している。</p> <p>45.57m 55割目は断面割れ目にて、交互に60°~80°割れ目を伴う(変位量約10mm)</p> <p>45.80m 45.87mは70°低角割れ目により軽微に20°以下に傾斜している。</p>
46	05											<p>46.23m 57割目幅5mmの固結状結晶を伴う。</p> <p>46.28m 50割目幅約10mmの流線状結晶(緑泥石化)を伴う。φ0.5~1mmの雲母が散在している。</p>
47	05											<p>46.53 ~ 46.60m 上部45° 下部40°で、上部は連続的に20°に連続するが下部は10°と明瞭である。 φ5~10mmの結晶が散在し、幅5mm前後の扁平な結晶が散在し、含石は結晶質にHb様を呈する。一部は流線状に発達している。 全体の色調は、明褐灰(7.5YR 7/2)~黒褐色(4.5YR 3/1)で厚さは30mm(コア長)</p> <p>46.87 ~ 46.92mは40°~60°割れ目により20°以下に流線状を呈する。黒褐色化を伴う。</p> <p>47.20m 50割目幅に幅約5mm以下に流線状の軟弱な結晶質を伴う。断面的に伴っている。</p>
47	05	47.37			c	V	c					<p>47.37 ~ 47.66m 50割目45°が平行に発達、これに斜交して30~80°の結晶質を呈する割れ目と低角割れ目とが分布する。 前者は連続的に20°に連続する断面に割れ目、後者は断面に連続的に20°に連続する断面に割れ目と平行に発達している。 47.52mは50°幅5~6mmの石英結晶が散在し、断面中央部が割れ目化している。</p>
48	05	48.14 48.35 48.48			c	IV	c	c				<p>47.66 ~ 48.35m 50前後の割れ目が30°で、上部は連続的に70~80°割れ目と20°に交互に発達する。</p> <p>48.11mは厚さ約2BとBと呈している。</p> <p>48.11mは75°と40°割れ目が交差し、断面に同様の20°前後のφ5mm前後の流線状結晶が呈し、軟弱化を伴っている。</p>
48	05				c	V	c	c				<p>48.35 ~ 49.35m 30~60°割れ目が30°で、これに60~80°割れ目が斜交する。 一部は割れ目が流線状に発達している。</p> <p>珪化部は少なく、珪化部は20°割れ目より分布は少ない。</p>
49	05	49.35			c	IV	B	Y	Z			<p>48.49m 50°、48.56m 55°の各割れ目に幅2~5mmの結晶質を伴う。φ5mm前後の結晶質を伴う。後者は20°に流線状に呈し、黒褐色化を伴う。</p> <p>48.71m 55°の割れ目より軟弱な明黄褐色(10YR 8/6)珪化部を伴っている。</p> <p>49.21m 75°以下に断面割れ目にて、厚さ約40°割れ目を伴う(変位量10mm程度)。</p>
50	05	49.93			v	c				0	7	<p>49.35 ~ 49.93m 破砕Bと呈している。一部は珪化部が割れ目化している。</p>



調査名		孔番・深度		D/3 (55.00 ~ 60.00)		観察日		5/28					
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	55.18			b	IV	B	γ	2			CM		52.60 ~ 52.85m φ10~30mmの「C」コア「C」の割れ目と角状構造部 の両方が上位に比べ下方上の基礎は粘土成分(粘土・ 粘土質砂)の主要部を占め、粘土質砂質土。 52.72m・45°の割れ目は多数の浸透割れ目(粘土質砂質土) (位置不明)
05	56.53		Gp	c	V	C	δ				CL		52.85 ~ 52.93m 上下部45°の割れ目(固形)全体が粘土(軽微化)の部 に2~3mm程度あり。 45~60°の連続性(粘土)の短い低密度割れ目の一部に 幅1~4mmの粘土に2mm程度(5YR7/4)の軽微粘土の 付着(2mm)。
5/28	56			d	VI	E	ε	3			D		52.93 ~ 53.29m 40~50°と70~75°の割れ目と低密度割れ目の両方あり。 割れ目の一部は浸透砂質土あり。
	56.71				V	D	Y	3					53.29 ~ 53.50m 50°の浸透砂50~70°割れ目、低密度割れ目の両方あり。 割れ目の一部は粘土質砂、1mm前後の圧縮に粘土質の軽微 粘土付着(粘土、粘土質砂)あり。
	56.88			d	VI	E					D		53.50 ~ 53.62m 粘土(軽微化)、圧縮の軽微粘土(幅1~3mm)の付着に あり。
5/28	57			d	VI	E					D		53.62 ~ 54.20m 浸透砂「C」コア「D」で、40~50°の割れ目はほぼ平行に分布。 割れ目の粘土質は10~20mmあり、一部浸透砂質土に2~3mm の粘土質砂質土付着ありあり。 54.20m・45°割れ目1mm幅3~6mmの粘土質砂質土に付着 あり、2mmの粘土質砂質土に付着あり。
	57.15 57.20 57.24												54.20 ~ 55.18m 50°の浸透砂50~60°割れ目の両方で54.20m・50° 割れ目の一部は浸透砂質土の粘土化と粘土質砂質土の粘土 化の粘土質砂質土に付着あり。 粘土質砂質土で粘土の割れ目は少ない。
05	58.03		55YR 1/2 明褐色	c	V	D	δ				CL		55.18 ~ 56.71m 40~60°割れ目と浸透砂の連続性40~50°の両方で55.53 粘土質砂質土の粘土質砂質土の粘土化と粘土質砂質土の粘土 化の粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土は粘土質砂質土 の粘土質砂質土に付着あり。 55.49m・55°と55.53m・45°の両割れ目の固形粘土質砂質土 は浸透砂質土(粘土質砂質土)。粘土質砂質土1mmの粘土質砂質土 の粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土 に付着あり。
58	58.27				IV	C	γ	2					56.71 ~ 56.88m 40~60°割れ目と浸透砂の連続性40~50°の両方で55.53 粘土質砂質土の粘土質砂質土の粘土化と粘土質砂質土の粘土 化の粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土は粘土質砂質土 の粘土質砂質土に付着あり。 55.49m・55°と55.53m・45°の両割れ目の固形粘土質砂質土 は浸透砂質土(粘土質砂質土)。粘土質砂質土1mmの粘土質砂質土 の粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土 に付着あり。
05	58.53			d	VI	E	ε	3			D		56.88 ~ 57.15m 15°の浸透砂割れ目あり。浸透砂割れ目3mm程度(浸透 粘土質砂質土に付着あり)。
	58.71			c	V	C					CL		56.88 ~ 57.15m 56.58m・56°の粘土質砂質土割れ目。浸透砂割れ目3mm程度 (浸透粘土質砂質土に付着あり)。
	58.91												56.71 ~ 56.88m 40~60°割れ目と浸透砂の連続性40~50°の両方で55.53 粘土質砂質土の粘土質砂質土の粘土化と粘土質砂質土の粘土 化の粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土は粘土質砂質土 の粘土質砂質土に付着あり。 55.49m・55°と55.53m・45°の両割れ目の固形粘土質砂質土 は浸透砂質土(粘土質砂質土)。粘土質砂質土1mmの粘土質砂質土 の粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土に付着あり。粘土質砂質土 に付着あり。
59	59			b	V	B					CL		56.88 ~ 57.24m 粘土質砂質土帯 56.88 ~ 57.15m HJ 上部40°、下部58°で、上部は連続性の粘土質砂質土、下部は 波打った連続性。
05	59.90												
60	60.00			c									

↓次ページ

調査名		孔番・深度		観察日		記号						
		01-3 ( ~ )				977-2						
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												<p>φ5~20mmの粘土化~硬土の薄片から割れ、薄片間を1~2mmの軟弱な白色粘土状物質に分布し、粘土状の薄片状を呈する。色調は明褐色(5YR 7/1)~白褐色、厚さ20mm(20号)</p> <p>・57.15~57.20m: Hb          上部60°、下部60°で、上部は流石で、下部も流石で、連続する。          φ1~2mmの石英粒、φ5~30mmの粘土化Gpと赤土を含む軟弱な深層粘土(明褐色(5YR 7/1)~白褐色(2.5Y 6/1)~白(2.5Y 8/1))が粘土に分布、厚さ20~25mm</p> <p>・57.20m(主断面)Hc-1          60°厚さ2~3mmの軟弱な白褐色(10YR 7/4)粘土で、粘土の上部側は流石で、下部側は面割りでシロップに連続する。</p> <p>・57.20~57.24m: Hb          上部60°、下部60°で、上部は面割りでシロップに、下部は一部不規則に連続。          φ5mm前後の粘土化~硬土のGp薄片が割れ、薄片間を1~0.5~1mmの軟弱な圧赤色(10YR 6/1)の粘土状物質に分布し、粘土状の薄片状を呈する。色調は明褐色(5YR 7/2)で、厚さ25mm</p> <p>・57.24~58.03m          40~60°割れ目、低密度割れ目φ1~3cmの間隔で平行に分布する。割れ目一部砂状化し、幅0.5~1mmの軟弱な圧赤粘土状の一部には含まれる。</p> <p>・57.90~57.94m、40°割れ目には粘土化の透れ、57.90°40°割れ目には2mm程度の深層赤土層が透れする。</p> <p>・58.03~58.29m          互いに交差する30~60°の割れ目。一部で同角の低密度割れ目分布する。割れ目一部は流石で砂状化可能。</p> <p>・58.29~58.53m          φ5~30mmの硬土の薄片と軟弱な砂状の粘土の基底から角礫構造部(砂粒~4mm)で、58.33m、40°割れ目厚さ0.5~3mmの軟弱な圧赤色(2.5YR 6/2)粘土層を穿つ。          ・毎40~58.46mの間隔で1/2~2/3の深層赤土層が透れする。</p> <p>・58.53~60.00m          互いに交差する30~70°割れ目、低密度割れ目φ1~4mmで、上部側は58.53~58.91mと、下部側は57.90~60.00m(1/2割れ目深層赤土、1/2割れ目深層赤土)粘土、58.66~58.71mの砂状化と交互に透れする層に砂状化(1/2割れ目深層赤土)。</p> <p>深層赤土の58.71~59.90mの2割れ目厚さ1mm、割れ目厚さ粘土状は透れする。</p> <p>・59.90~60.00(1/2割れ目厚さ1mm)の深層赤土の砂状化を穿つ。</p> <p>・59.46m、45°割れ目、幅5~10mmの深層赤土(鉄泥石化)で、φ0.5mm以下と微細な塵母と穿つ。          粘土化部粘土化は1/2割れ目。</p> <p>60m検査</p>

H24-D1-2

# 第四系コア観察カード

調査名		XXXXXXXXXX	孔番	D1-2 (60)	観察日	3/9	
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 火山灰 炭質土 化石 貝片 木	地質名	色調	堆積構造・特徴等
1	0.2				砾石	1.7/1 黒	φmax 3cm. 黒色の細粒砂岩・頁岩片
1	1				盛土 工	10YR 5/8 黄褐	砂礫 φmax 2x6cm の肉片状のもの。大半は10%以下の細砂〜粗砂が主。粒度不均一。細粒分は少量あり。ルーズである。大半は花崗斑岩あるいはアングライト層である。稀に黒色の頁岩片(?)も含まれる。
3	2.8					10YR 4/8 明黄褐	シルty 砂礫 φmax 16cm. 大半は花崗斑岩礫の。アングライト礫も含まれる。シルty 分を含まず。上層層別々、締りか良い。0.2~0.5m 間に粗粒岩礫が混じる。
4	3.8						

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ◐ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭—— 不明瞭---- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

# 第四系コア観察カード

調査名	[Redacted]				孔番	D1-2 (4)	観察日	3/19
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカー 火山灰物 炭質土 貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等	
5			Yr	Gr	砂土		4.85m付近に炭質物片あり。	
6	6.81		Ap				6.81mで着音 基盤岩	6.81m
					Gr		↓ 基盤岩コア観察の参考	

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等  
境界 明瞭 — 不明瞭 --- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日											
		D1-2 (6P/ ~ 10)		3/20											
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					RQD	
0.5															
6															
0.5	6.81														
7			Gp	灰黄色	c	V	D	δ	2	0.3	CL				コア部が割れ目から剥離 ↑ φ2~10mmの石英と長石の斑晶が5割程度花崗斑岩(Gp)で、長石は白濁化している。
0.5															
8										0.5					
0.5															
9										0.7					
0.5															
10										0.7					

調査名		孔番・深度		D1-2 (70 ~ 15)		観察日		3/20, 3/21					
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
0.5	10.58		Gp	2.5YR 7/3 10.58 10.66	c	IV	D	δ	2		C <sub>L</sub>	11.53 ~ 11.67 m 全体が粘土化(軟化)の砂。断面は分布不均。	
	10.66	11.67 ~ 11.95 m 10と40割れ目が軸から分布、φ20~30mmの片状化											
1.1	10.95			2.5YR 7/3 10.95	c	V	D	δ	2	0	8	C <sub>L</sub>	11.95 ~ 12.13 m 割れ目には幅1mmの軟弱な白色粘土脈が認められ、全体に軟化著し。
	10.95	12.13 ~ 12.38 m 12.30mは60割れ目が残存する。2m以外は月代で割れ目は消滅した。											
0.5	11.53			2.5YR 7/3 11.53 11.67	d	VI	E		3			C <sub>L</sub>	12.38 ~ 12.77 m: 破砕帯(D) 断層 12.38 ~ 12.86 m: H <sub>J</sub> 上部60、下部45°で、両者は連続的にシアーに連続。 右組織は残存する。割れ目は殆ど消滅し、軟化粘土 φ10~30mmの片状化。右側には20~70°幅0.5~1mmの軟 弱な灰白~灰黄色(2.5Y 7/2)粘土脈が分布する。全体の 色調は10.58割れ目(2.5YR 6/3)と一致する。
	11.67	12.77 ~ 12.86 m: H <sub>J</sub> 厚さ480mm(27層)で、12.65mに交互に割れ目と加(交互2層)と 断面分布する。											
1.2	11.95			2.5YR 7/3 11.95	c	V	D	δ	2			C <sub>L</sub>	12.86 ~ 12.87 m: Hc-1 (主断面 12.86m) 上部・下部45°で、連続的にシアーに連続する。
	11.95	12.87 ~ 12.89 m: Hc-1 (主断面 12.86m) φ1mm前後の石英粒と少量の金砂や稀な灰白~灰黄色 (2.5Y 6/2)粘土で、厚さ5mm											
1.1	12.13			2.5YR 7/3 12.13 12.38	d	VI			3			D	12.89 ~ 12.87 m: Hc-1 (主断面 12.86m) 上部・下部45°で、連続的にシアーに連続する。
	12.13	12.87 ~ 12.91 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、上部は連続的にシアーに、下部は不 明瞭に連続。											
0.5	12.38			2.5YR 7/3 12.38 12.56	c	V	E	δ	3			H <sub>J</sub>	12.91 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> φ5~20mmの粘土化~砂化片状と、片状の粘土部が認め られる。右に10.58割れ目(2.5YR 7/3)の硬度粘土と一致。厚さ 35mm
	12.38	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm											
1.3	12.56			2.5YR 7/3 12.56 12.87 12.97	c	V	D	δ	3	0	3	Hc-1 H <sub>J</sub>	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm
	12.56	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm											
0.5	12.87			2.5YR 7/3 12.87 12.97	c	V	D	δ	2			C <sub>L</sub>	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm
	12.87	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm											
1.4	12.97		2.5YR 7/3 12.97	c	V	D	δ	2			C <sub>L</sub>	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm	
	12.97	12.97 ~ 12.97 m: H <sub>J</sub> 上部45°、下部45°で、両者は不明瞭に連続 著しく軟化し、硬さEの片状と、45°幅0.5~1mmの軟弱な粘 土脈と少量の金砂粘土混在片状と一致。10.58割れ目(2.5YR 7/3)の厚さ 40mm											
0.5	13.06		2.5YR 7/3 13.06 13.73	c	IV	D	δ	2			C <sub>L</sub>	13.06 ~ 13.76 m: 10~20°の割れ目が多く、割れ目には 灰化と砂化~小片状化(一部2~20°に粘着を受けず)。	
	13.06	13.73 ~ 13.77 m: 10~20°の割れ目が多く、割れ目には 灰化と砂化~小片状化(一部2~20°に粘着を受けず)。											
1.4	13.73		2.5YR 7/3 13.73	c	IV	D	δ	2			C <sub>L</sub>	13.73 ~ 13.77 m: 10~20°の割れ目が多く、割れ目には 灰化と砂化~小片状化(一部2~20°に粘着を受けず)。	
	13.73	13.73 ~ 13.77 m: 10~20°の割れ目が多く、割れ目には 灰化と砂化~小片状化(一部2~20°に粘着を受けず)。											
0.5	13.97		2.5YR 7/3 13.97	c	V	D	δ	2			C <sub>L</sub>	13.97 ~ 14.20 m: 50°幅1mmの石英脈が両者に露出(連続)。	
	13.97	14.20 ~ 14.30 m: 45°割れ目を中心、10mm幅5~10mmの粘土化 砂の粘土化砂の帯状に分布する。											
1.5	14.20		2.5YR 7/3 14.20 14.97	c	V	D	δ	2			C <sub>L</sub>	14.20 ~ 14.30 m: 45°割れ目を中心、10mm幅5~10mmの粘土化 砂の粘土化砂の帯状に分布する。	
	14.20	14.30 ~ 14.97 m: 60°と、14.97 m: 62°はせん断性割れ目。前者は交互 する60°割れ目と加し、後者は長石玻璃と加断した。											